

乗年もウィーンから沢山の贈り物を!

●生徒たちからの贈り物・中学校出前講座!

昨11月12日、我が家の郵便ポストに緑中学校からの封書が届いていました。中を開けると、吉野昇之助校長先生からのお礼状とともに、1年生から3年生まで34名からの感想が綴られた冊子が入っていました。これから、講師の富田千種さんにお送りするのですが、その前にいくつかご紹介を・・。

* *

◆富田さんの歌声に感動

- 富田さんの綺麗な歌声をありがとうございました。声がすごく伸びていてすごいと思いました。私は複式呼吸が苦手なやり方もいまいまいち分かりませんが、富田さんが教えてくださったお陰で少しできるようになった気がします。(3年女子)
- 私は合唱を習っていて学校の文化祭のクラス合唱ではソロをやらせてもらいました。富田さんと同じように歌うことが大好きです。富田さんのお話からは学ばせてもらえることが多く、放課後、直接お話を聞きたいと思っていたのですが残念です。またいつか機会があれば、歌声を聞かせてください。私もウィーンに行きたいです。(3年女子)
- 私はオペラの歌を生で聞くのは初めてで、その声量と迫力に圧倒され感動しました。音楽の授業で歌った「サンタルチア」も歌っていただけで嬉しかったです。呼吸法も楽しく教えて下さり、とても参考になりました。(3年女子)
- 初めてオペラ歌手の歌声を聞いて本物のオペラに行ったような気分になり、とても感動しました。1人の声とは思えないくらい低音の力強さと迫力があって聞きほれました。富田さんの歌い方がとても表情豊かで盛り上げ型もとてもうまく、聞いている人を楽しませる音楽というのはこういうことなのだと思います。(3年女子)
- 私は小さい頃から音楽が大好きで、歌う事も大好きでよく歌っています。楽器も好きで小学校ではトランペット、中学ではアルトサックスをやっていました。なので最初と最後に歌を聴いた時、特に「サンタルチア」は知っている曲なので、とても感動しました。最近受験勉強ばかりで、音楽で好きなことができていなかったのもとても嬉しかったです。ありがとうございました。(3年女子)
- 私はあまり音楽のことを良く知りませんでした。ですが、音楽の楽しさや奥深さを初めて知り、音楽への興味が少しずつ湧きました。(3年女子)
- 富田さんが歌っている時、マイクが無いのにすごく遠くまで響いていて、私もあんな風に歌えたらいいなあと思いました。私も歌うことが好きなので、今日覚えた呼吸法を上手く活用できると思います。(2年女子)

- 最初に富田さんを見て、そんなに大きな声が出るのかな?と思いました。歌声を聞いて力強さと声の伸びの良さにとっても感動しました。歌が好きなので、これからも好きな歌をいっぱい歌っていきたいと思いました。(1年女子)
- 初めて生で歌を聴いてすごいなと思いました。体育館に歌声が響いていてすごかったです。全部の話が終わった後にやった腹式呼吸がいがいと難しかったです。(1年女子)
- 富田さんの生の歌声は体育館全体をうめつくすような温かさがあったと思います。(1年女子)

* *

◆音楽の都ウィーンに感動

- ウィーンは音楽の都だけあって、オペラの会場が多く、毎日ほぼ満席というのを聴いてすごいなと思いました。(3年男子)
- 印象深かったのは作曲家たちが住んでいた家です。あの場所であの名曲が生まれたんだとか、どういいう一日を過ごしてどういうふうに世界が見えたんだろうかといろいろと想像が膨らみました。きっとベートーヴェンとか有名な人たちは私が考えられないようなことや世界が違って見えるんじゃないかなと思いました。(3年女子)
- 富田さんが何十年もウィーンという町に住んでいると聞いて驚きました。また、なぜウィーンという町は音楽の都と言われているのかを知ることができました。(1年女子)

* *

◆富田さんの生き方に感動

- 私は小さい頃からピアノを続けていたので音譜はある程度読めますが、高校3年生から音楽に目覚めて音楽大学に行くのは大変凄いなと思いました。僕はベートーヴェンが好きなので話を聞いて本当に良かったです。(3年男子)
- 武蔵野音楽大学出身と聞いてとても楽しみにしていました。私が目指している音大です。親に反対されている理由も同じでびっくりしました。音楽を聞き、音楽にも詳しくなり、呼吸法も教えていただき勉強になることがたくさんありました。広い領域で音楽のことを学びたいです。(3年女子)
- 高校から音楽を始めてウィーンでオペラ歌手をしているなんて凄いなと思いました。モーツァルトに関係のある町で、日本人でもオペラ歌手になれるんだということを知りました。(2年女子)
- 特に印象に残っているのは、富田さんの経歴です。きっと小さい頃から音楽に関わられていたんだろうと思っていたのですが、具体的な夢を持ったのが高校3年生と聞いて驚きました。自分も焦らずにゆっくりと自分に合った夢を探していこうと思います。(2年男子)

* *

皆さんからの心の籠もった感想は、その場に同席させていただいた私も同様に感激したものです。温かく奥行きのある歌声、前半の富田さんの歩まれて来られた道のり、後半のウィーンのまちの素晴らしさ、そして生徒たちの中に入っていったの複式呼吸指導と本当に嬉しいものでした。

さて、その日の講演の様子は学校のブログでも取り上げられていました。

* *

◆ふれあい講演会開催す！！ 2015/11/04



本日、声楽家の富田千種さんを講師に迎え、平成27年度ふれあい講演会を開催しました。富田さんは40年以上ウィーンに在住し、声楽家として活躍されている方です。高校は浦和高校という進学校でしたが、3年生の時、声楽の勉強をはじめ、ピアノもままならない中、音楽大学に進学されました。高校時代を振り返り、「中学時代は学校で3番くらいの成績だったが、高校に入るとどんなに勉強してもかなわ

ない学友と出会い、このままで良いのか自分の道を振り返った。そして、好きな音楽の道で生きていこうと決意した。いまは、人生の方向性を見つけた高校時代を良かったと思う。」と話していました。その後、ウィーン国立音楽大学オペラ科、リート科を優秀な成績で卒業され今に至っています。「言語の勉強は大事。これからは世界を相手に生きていくのだから外国の言語をしっかりと身に付けること。」と強調されていました。歌声を2曲披露してくださったり、発声練習を指導していただいたり、楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。今回の仲介の労をいただきました「音楽の都ウィーンからの贈り物実行委員会」香田寛美様ありがとうございました。【春日部市立緑中学校ブログ】

* *

さて、翌日にふれあい講演会を行った豊野中学校のブログにも講演の様子が…。

* *

◆ふれあい講演会 2015/11/05

本日、声楽家の富田千種様をお招きして、ふれあい講演会を開催しました。富田様はオーストリアのウィーン在住で、今回の帰国を機に「ウィーンのまちと音楽」という演題でご講演をいただきました。

最初は「サントルチア」をご披露いただき、なぜ、声楽家を目指したのかお話をいただきました。その後、ウィーンの町並みをご紹介いただき、「フィガロの結婚」をご披露いただきました。そして、最後に腹式呼吸の発声法を御指いただきました。

【春日部市立豊野中学校ブログ】

* *

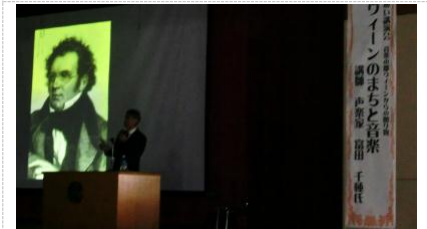
先日、富田さんに私が綴った記録をお送りしたところ次のようなメールをいただきました。

「香田様、お世話になりました。高校生と違い、中学生はまだあどけなさが残り可愛かったですね。しかし中学、高校とこの6年間の教育というのは非常に大切ですね。今回改めて実感いたしました。さて今回の出張講座は自分も慣れないところもあり、勉強になりました。体育館は音響も理想的とは言いがたいのですが、どの学校にもピアノがあり、演奏会も可能な気がします。講座もテーマを決めて、出張ミニ演奏会形式にしても良いかなと思います。何事も経験ですね、回を重ねて初めて形ができてくるものなのでしょう。お互い老け込むのはまだまだ早いです、健康で社会に何か役に立てればと思います。また来年に向けて頑張りましょう。富田千種」

嬉しい限りです。来年も楽しくがんばりましょう。



〔サントルチアをご披露〕



〔ウィーンの町並みをご紹介〕



〔呼吸法をご指導〕

